海　新斤　幸报　第17015号　平成26年（2014年）7月5日（土曜日）　日刊（月曜日休刊）

母子の憩いの場に

子育て支援室開所

こそだてシップ サン・リアで、利用無料

大船渡

子育て支援に取り組む大船渡市のNPO法人・こそだてシップ（伊藤怜子代表）は4日、同市盛町のショッピングセンター「サン・リア」内に子育て支援室「すくすくルーム」を開所した。妊婦や乳幼児、育児中のママたちの憩いの場を目指し、法人スタッフが、子育て支援の各種相談に無料で応じる。

こそだてシップは気仙の助産師有志で平成23年9月に発足し、同25年5月、NPO法人の認証を受けた。子育て世代を対象に定期的に開いてきたサロンは4月現在で、延べ200組以上の親子が参加。ほか、サービスの届きにくい地域への巡回サロン、母子関連物資の配布など地域の実情に沿った支援を展開している。

すくすくルームは「ママたちが気軽に立ち寄れる癒やしの場所を」と、サン・リア2階の一角を間借りし、オープン。広さは約18平方㍍で、法人事務所も設けた。利用者が安らげるよう畳や壁を新しく張り替えた。

オープン初日から早速、買い物途中の母子らが利用。スタッフと育児にかかわる世間話を弾ませながら、七夕に合わせた短冊づくりを行うなどした。

利用第1号となった大船渡町の佐藤和歌子さん（37）は「買い物途中にちょっと休憩できる場所があるのはありがたい。子育て支援のプロの方々なので安心して来ることができる」と喜び、次男の翔（かける）ちゃん（3カ月）もスタッフたちと元気に遊んでいた。

同ルームは、サン・リアの営業時間内（午前9時から午後7時）は利用可能で、月～土曜日の午前10時から午後3時は法人スタッフが常駐する。体重測定、授乳、おむつ交換ができ、行政や関係機関の子育て支援情報のチラシも置かれている。

伊藤代表は「利用するママたちの意見も聞きながら癒やしの場所を目指すとともに、今後の活動を通して子育て支援の重要性を地域全体に広げていきたい」と意気込んでいる。

乳幼児やその父母たちの憩いの場所としてオープンした「すくすくルーム」＝サン・リア